

平成22年度岩手県農業委員会大会

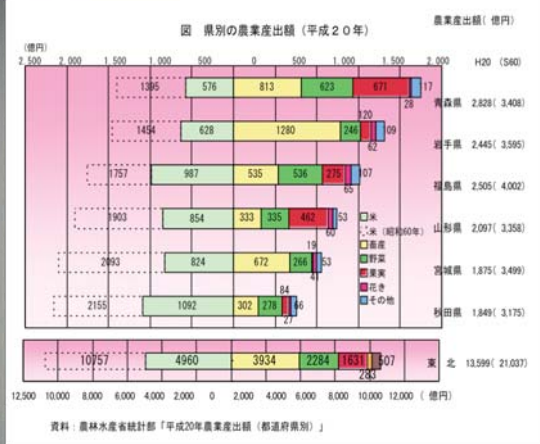
於都南文化会館(2010.11.11)

# 農政転換期における地域農業の 展開方向と農業委員の役割

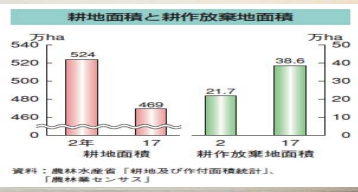
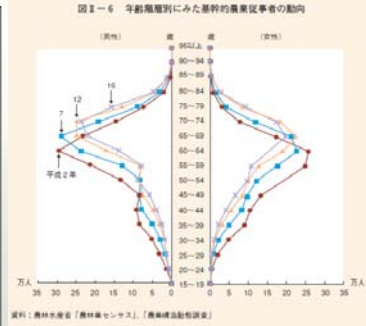
東北大学大学院農学研究科  
教授 伊藤 房雄

## I 衰退する農業・農村(農産物生産構造の変化)

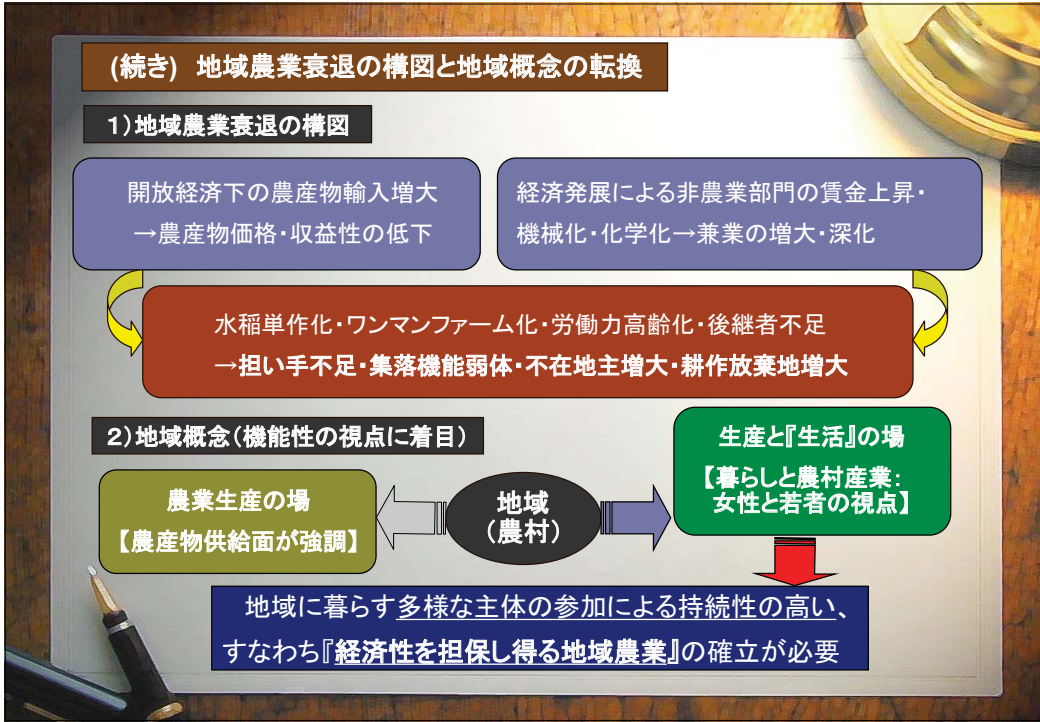
### 1. 農業生産額の縮小



### 2. 農業労働力の高齢化・担い手不足



### 3. 耕作放棄地の拡大



**II 農業政策の転換**

**1. 基本政策**      市場重視&選別政策 → 国による岩盤対策導入&全員対象

	A 不足払い型	B 中間型	C デカップリング型
<b>直接支払いの類型</b>	経営所得安定対策(成績払い) 加工原料乳補給金 品目別交付金	米戸別所得補償 水田利活用自給力向上事業 産地づくり交付金	経営所得安定対策(固定払い) 中山間地直接支払い 農地・水・環境保全向上対策
交付と当年の 生産との結合	結合(Coupling)	結合(Coupling) 切り離し(Decoupling)	切り離し(Decoupling)
作付け(制度)			
WT O上の扱い	『黄』の政策	『黄』~『青』~『緑』	『緑』の政策
目的の達成度	食料自給力向上 ← → 国際規律適合性		

**財政負担問題**

**2. 農地政策**

『円滑化団体』による農地利用集積円滑化事業(2009年12月 経営基盤強化法の一部改正)

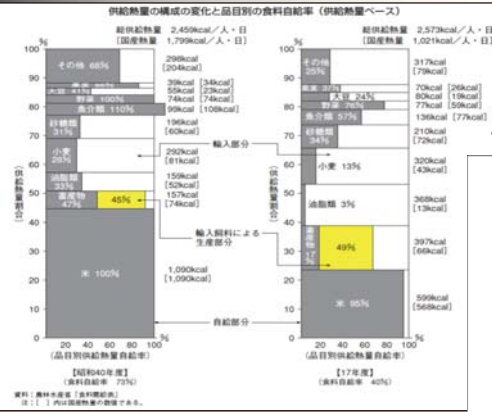
**3. 経営政策&農村振興政策**

農商工等連携(経産省、農林水産省)&地方の元気再生事業(内閣府)→6次産業化(農林水産省)

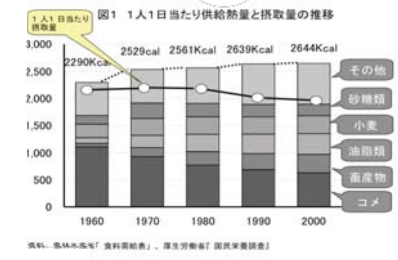


### Ⅲ 食料消費構造の変化

食料・農業・農村の価値←支払うのは消費者・生活者



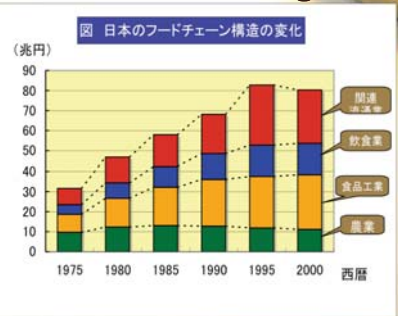
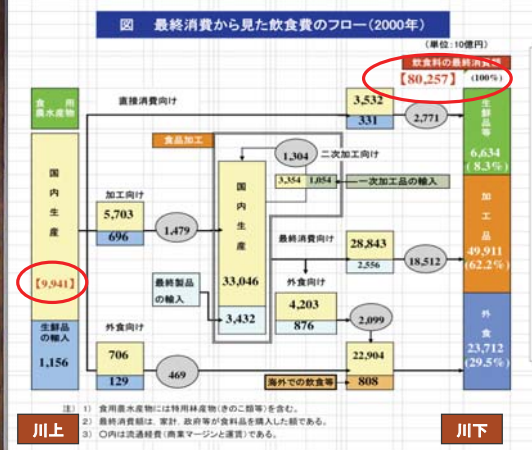
- 生活様式の変化
- 食料自給率の低下
- フードマイルージの拡大
- 食の安全安心問題



1970年代まで『胃袋』で食べる時代  
 1980年代は『舌』で食べる時代  
 1990年代から『脳』で食べる時代へ

### (続き) 食産業構造の変化

迂回生産⇔経済成長



川下への展開による付加価値獲得の余地は大きい

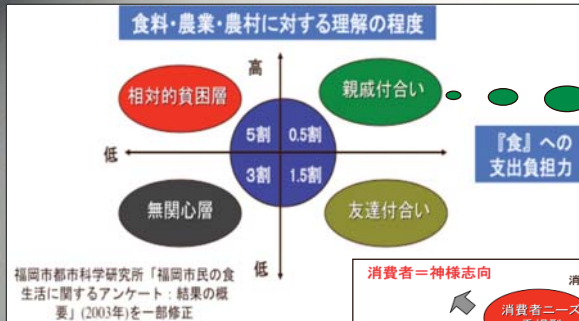
### (続き) 人口・気候などの与件変化

6次産業化・農商工等連携の目的

- 衰退する農業・農村の活性化
- 農村に新たな価値を産み出し、高齢者や女性にも就業機会を創出

- 少子高齢化人口減少・年金問題など将来所得の不安
- 地球温暖化による農業生産環境の変化 etc

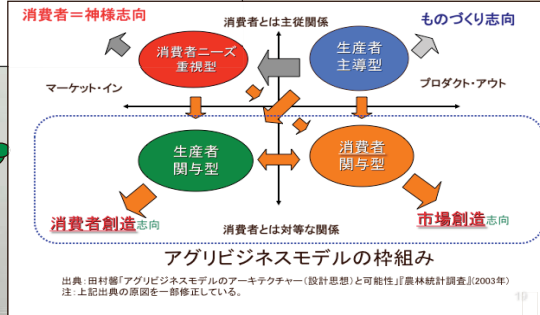
#### IV 多様な消費者とこれからのアグリビジネスモデル



福岡市都市科学研究所「福岡市民の食生活に関するアンケート：結果の概要」(2003年)を一部修正

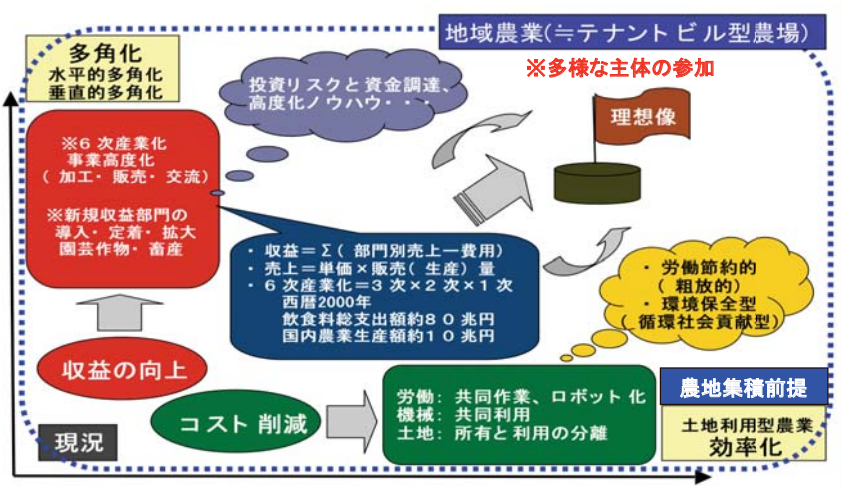
双方向  
コミュニケーション  
と共同体感が大切

- 具体的には
- ※ 新商品(PB含む)
  - ※ 地産地消=知産知消
  - ※ CSA (=契約栽培)
  - Community Supported Agriculture などなど...



出典：田村部「アグリビジネスモデルのアーキテクチャー（設計思想）と可能性」『農林統計調査』2003年  
注：上記出典の原図を一部修正している。

#### V これからの農業経営と地域農業の展開方向



キーワード：①より高い1日当たり家族労働報酬の実現 ②周年労働の確立



